

学校番号	学校名	校長名
90	川崎市立下布田小学校	千野隆之

学校教育目標	今年度の重点目標	
豊かな人間性をもち たくましく生きる下布田っ子の育成 考える子 やさしい子 はたらく子 じょうぶな子	考える子:自ら考え、課題に向かって学ぶ やさしい子:思いやりをもって友だちを大切にすることは はたらく子:みんなのために進んで働き、最後までやりぬく	○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ○心を育てる教育の推進 ○子ども自身を主体にした創造性豊かな教育活動

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策
1 授業が分かる、楽しい	<考える子> ・わかる喜びやできる楽しさを味わう授業	「授業が分かる」「楽しい」と答えた児童がどの学年も8割を越えており、児童にとって「分かる」「楽しい」授業を各担任が工夫していた。「考える力」がついたと実感している児童の割合が学年によって差があった。	「考える力が身についた」と実感する機会を増やし、自信をもって新たな課題に取り組めるよう、活動の振り返りの取り方を工夫する。 引き続き校内自主研究、各種研修などを通して、授業力の向上に取り組む。
2 考える力の育成	・一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育を基盤とした取組 ・人との関わりや体験活動を通じた授業	「進んで学習する態度」については、保護者から「進んで学習している」という意見が6割を越えている。家庭での声かけや、家庭学習の工夫がうまく結びついている。	
3 進んで学習に取り組む	・キャリア在り方生き方教育の推進 ・GIGAスクール構想の推進 ・校内研究テーマ「自分の思いや考えを伝え合う子」～話し手と聞き手のわくわくを育む学習を通して～		
4 話す力・聞く力が伸びたか			
5 思いやりの心、感謝する心の育成	<やさしい子> ・挨拶が行き交う学校づくり ・人権尊重教育、かわさき共生＊共育プログラム、SOSの出し方教育	「思いやりの心」については学年によってばらつきはあるものの、肯定的評価が9割を越えている。	特別の教科「道徳」をはじめ、日々の集団生活の中で友達とかかわりを指導していき、お互いに支えあうことの喜びや大切さが感じられるよう、思いやりの心を育てていく。
6 あいさつやお礼を言う態度	・確かなみとりによる児童支援 ・ペア学年交流 ・言葉や身体などによる表現活動の充実 ・地域諸施設との交流	「あいさつ」に関しては多くの児童が高い意識を持っている反面、保護者と意識のずれがある。	「あいさつ」の大切さを家庭と連携しながら児童に伝えていく。児童が自発的にあいさつできるよう、子どもたちから発信して全校に呼びかける取り組みを行う。
7 協力する大切さの理解	<はたらく子> ・自ら企画し運営する児童会活動 ・人と人のつながりやふれあいを大切に活動や行事	「友達と協力して活動している」と答えた児童が9割を越えていて、どの学年も協力しようと意識している。	協力することの大切さや必要性を理解しながら関わっていくことを、大切にしていける。
8 粘り強く取り組む態度の育成	・自ら学び、課題に挑戦する活動 ・SDG'Sを意識した取組	「粘り強く取り組む態度」については学年間で、また児童と保護者として開きがある。	粘り強く取り組み、あきらめずに頑張っている場面を励まし、支援していき
9 健康で規則正しい生活への取組	<じょうぶな子> ・安全安心な教育環境整備 ・心身ともに健康な子どもの育成を図る実践(キラキラタイム等)	児童、保護者共に厳しい評価になっている。	「早寝、早起き、朝ご飯」が有意義な学校生活には不可欠であることを引き続き伝えていく。
10 ルールを守って生活する態度	・子ども自身による体力づくり、仲間づくり(委員会活動など) ・不登校対策校内支援	肯定的評価が昨年度に比べて低くなった。	「なぜルールがあるのか」を説明しながら、ただルールを押し付けるのではなく、児童が考えられるようにしていく。
11 地域の方との触れ合い	<地域とともに歩む学校づくり> ・保護者・地域・関係機関との連携や相互理解	今年度はこれまでの制限が解除され、児童は地域の方との触れ合いを楽しんでいた。	今後も地域の人材、学習材を大切にし、学習する目的を明らかにしながら活動を進めていく。
12 行事への取組の様子	・積極的な学校公開と情報発信 ・せせらぎ観察園など特色を生かした取組	学校の行事に参加するのは楽しいと感じている児童がどの学年も9割を大きく越えている。	児童が主体的に取り組む、その経験が自己肯定感につながるよう指導していく。児童の活動の様子を保護者へ発信していく。

学校関係者の評価	学校運営のまとめ
<p>学校運営協議会での意見より</p> <p>○保護者に余裕がなくなってきた。子どもとの時間をもっと大切にできるようにしたい。</p> <p>○あいさつは大切。先生たちも地域の大人たちも率先してやっていきたい。</p> <p>○先生たちには地域とのつながりを大切にしていきたい。</p> <p>○先生たちが大変なのはよくわかる。私たちにできることがあればやっていきたい。</p>	<p>○学校評価アンケートの回答率が高いのは、保護者が協力的で関心が高いことの現れだと思われる。</p> <p>○開かれた学校づくりや行事への参加について、評価が高いのは本校の強みなので引き続き活かしていきたい。</p> <p>○ここ数年の傾向として低学年に手がかかるようになってきた。少人数指導、サポーター配置などを低学年に重点的に配置している。手をかけた結果、高学年に向けて大きく成長している。</p> <p>○業務改善に取り組みながら教員が元気に力を発揮できるようにしていきたい。</p>